

金瓶から半郷、上山の小学校へと通う茂吉

明治十五年（一八八二）、山形県かなかめ金瓶村（現在 かみのやま上山

市金瓶）に生まれた斎藤茂吉は、明治二十一年四月（誕生日で満六歳）、生家のとなりの金瓶尋常小学校に入学しました。そして、その翌年に九つの村が合併して、金瓶村は堀田村金瓶へと変わり、茂吉も明治二十三年から、半郷尋常小学校二学年に移って学ぶこととなります。

明治二十五年四月、半郷尋常高等小学校高等科に進学、同じ年の十二月には上市市内の上山尋常高等小学校高等科一年に転校して、明治二十九年、一番の成績で卒業します。のちに、養父となる東京の斎藤紀一がひきとり、医学の勉強をさせることがこの頃決まりました。そのため、上京する八月までの数カ月間、中学受験のために同校補修科に通いました。

茂吉の小学校時代歩いた道

金瓶と半郷の小学校

